

Title 4 アイディアを出すためのアクティビティ

ブレインストーミング

自由奔放な話し合いで、アイディアをたくさん出しましょう！

- ① 10人前後のグループに分かれた上で、司会、記録、発表者等を決めます。
- ② 5つの約束
 - ・質より量
 - ・批判はだめ
 - ・自由・斬新なアイディア
 - ・他人のアイディアの尊重
 - ・シンプルな表現

に従ってアイディアを出し合います。この場合、各自が付箋紙等に記入して張り出したり、記録者が模造紙に書き出したりする方法が考えられます。

準備物

模造紙、付箋紙



最初に、5つの約束をお互いに守るように話します。

出たアイディアは観点別に分類、整理することができます。

参加者アンケート

動きのあるアクティビティを取り入れてみましょう！

- ① テーマに関する質問事項を、ワークシートに3~5つ設定します。
- ② 学習者に、ワークシートに記入してもらいます。
- ③ 質問の中から学習者自身が最も関心の高い事項を1つ選んでもらいます。
- ④ 一定時間、自由に歩き回ってもらい、最も関心の高い事項について多くの人たちから意見を収集します。
- ⑤ 同じ事項を収集した人同士でグループをつくり、その事項に関する聞き取りの結果を集約し、気づいたことや考えたことを話し合います。
- ⑥ グループの話し合いの結果を発表し合い、他の事項について、他のグループの話し合いの成果を分かち合います。

準備物

ワークシート



ワークショップのアイスブレイクとして使うと、その後のアクティビティの導入になります。

学習成果のふりかえりとして使う方法もあります。

バズセッション

少人数のグループで気軽に、ハチのようにブンブン発言を！



準備物

記録用紙

- ① 2～6人ほどのグループに分けます。
- ② リーダーと記録係を決めます。
- ③ テーマについて討議時間の中で自由に討議してもらいます。
- ④ テーマについての意見を集約するかたちで、リーダーに発表してもらいます。

多人数の学習者全員の意見や考えを集約しながらすすめるときに用いられる、少人数のグループ討議です。

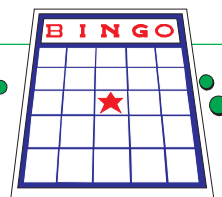
全体の時間設定との関係を考慮して、討議時間を設定します。

ビンゴゲーム

ゲーム感覚で、アイディアを出しましょう！

準備物

ビンゴカード



- ① グループに、9つのマス目を記入した用紙を用意します。
- ② 与えられた課題を考える上で必要なアイディアを、箇条書きに出し合って9つのマス目を作成します。ビンゴゲームですから、中心のマスには最も必要とされるアイディアを位置づけます。
- ③ マス目には自由に数字を入れます。
- ④ 活動の後、順番にアイディアを発表します。
- ⑤ 同じアイディアがあったら、数字に○をつけます。
- ⑥ ビンゴになったら、発表します。

グループでの共同作業で行うと、連帯感が強まるでしょう。

1ビンゴですぐに終わってしまう場合は、ダブルにするとよいでしょう。ビンゴがあがっても最後まで他のアイディアに耳を傾けましょう。

残ったアイディアは、貴重な意見かもしれません。